

福岡県北九州市 フィジカルAI分野における地域産業クラスター計画の概要

— 日本の経済安全保障を支える北九州市 —

1. 産業領域

フィジカルAI産業領域

※ 該当する業種

金属製品製造業、生産用機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報サービス業、インターネット附随サービス業など

2. 対象エリア

学術研究都市と設計・製造機能が集積する 特に八幡西区及び若松区

- ✓ 研究開発から実証、社会実装、事業化、産業集積に至るまでの一連のプロセスを、単一の都市内で完結させることができる全国でも有数の地域
- ✓ 社会実装を起点としたデータ循環が成立する
- ✓ フィジカルAIの需要側市場が地域内に存在する
- ✓ 供給側産業の集積と成長ポテンシャルを有している



3. 目指す姿（目標）

課題の解決

新たな付加価値創出・雇用拡大

KGI ①	官民設備投資額 2035年度累積 6,000 億円 目標年度における投資額600億円
KGI ②	付加価値増加額（2022年度比） 2035年度 734 億円増加
KGI ③	産業人材育成数（10年累計） 2035年度 20,000 名

4. 勝ち筋

「社会実装起点型 フィジカルAI産業創出モデル」を確立

- ① 社会実装の先行都市化
- ② 社会実装を起点とした産業集積の形成

フィジカルAI
サンドボックス

実証フィールドの提供
実装の伴走支援

匠プロジェクト
熟練技術者の技を
フィジカルAIで継承

フィジカルAI
社会実装LABO

先端技術のショールーム
実装型SIerの育成

フィジカルAI
フレンドリータウンPJ
リスキリング、次世代教育
体験の場づくり

5. 政策手段

現場データを研究開発から事業化へ

